

包 括 的 公 表

平成 19 年 4 月～6 月に報告された医療事故のうち、包括的公表となる事例は下記のとおりです。

発生場所	概 略	再発防止策
病棟	右足関節部の他動運動時、右内踝部の骨折を来たしたが、ギブス固定にて軽快した。	骨折の危険性があることを考慮した運動を行う。
病棟	膀胱留置カテーテルを挿入した時、挿入が困難であったが、2 回目で挿入できた。その後、尿道口から出血がみられ尿道損傷が確認された。	挿入困難な場合は泌尿器科医師に相談する。
外来	凝固系検査結果を見誤り、患者を帰宅させたが、後日再診され適切な診療を行った。	検査結果は医師及び検査部でも確認することになった。
廊下	廊下に敷いてあった養生シートの粘着テープにつまづき転倒し右眼を打撲したが、軽快した。	廊下の段差をなくし、足元への注意喚起を行う。
病棟	副咽頭手術後に、出血を来とし病状が悪化した。止血術を行い、以後順調に回復した。	手術後の観察を頻繁に行い、異常の早期発見に努める。
手術室 (他同様事例 1 件)	手術時、術野を覆う布を固定する器具で皮膚を誤ってつまみ、傷つけた。	手術時の器具の取り扱いに細心の注意を払い、複数の医療従事者で確認をする。